

りゅうぎん まかせて新聞

2011 12月
(平成23年) 第17号

発行/琉球銀行
総合企画部地域貢献室
〒900-0015 那覇市久茂地1-11-1
(大代表)
TEL098 (866) 1212
ホームページ
<http://www.ryugin.co.jp/>
メールアドレス
ryugin@ryugin.co.jp

りゅうぎんの目指す将来像
「問題解決型銀行」
「問題解決型銀行」とは、文字通り地域、企業、個人のお客さまの問題や課題を発見し、解決していく、りゅうぎんの銀行像です。りゅうぎんは、問題解決型金融機能の強化を図り、多様なサービスを提供することにより地域、企業、お客さまとともに、持続的な成長を図ることを目指しております。

「りゅうぎん金融大大学校」開校!

りゅうぎん金融大大学校 開校式

より専門性の高い人材を育成し、
問題解決型銀行を实践!



開校挨拶をする大城頭取



大城頭取と行員代表メンバー

琉球銀行は、2011年7月、若手行員の早期育成や、専門性の高い知識・技能を持ったプロの金融人材の育成を目的として「りゅうぎん金融大大学校」を開校しました。

「りゅうぎん金融大大学校」では、従来の業務研修に新たな要素を加えて研修内容を充実し、4つの課程に分類、体系化しました。

業務の基盤となる知識・技能の習得を目的とした「教養課程」、上級行員向けの「実務課程」、管理職向けの「マネジメント課程」を設置したほか、より専門的な知識の習得や、国内・海外での研修の機会を提供する「専門課程」を設置しました。

特に「専門課程」内には、プロの金融人材の早期育成を目的として、中小企業診断士やファイナンシャルプランナーなどの公的資格の取得を目指す「プロフェッショナル養成コース」も設置しました。

また、研修参加のための移動時間を縮減するため、北部、中部、離島、県外の店舗に設置しているテレビ電話を活用し、効率的な研修の実施を図ります。

琉球銀行では、今後とも人材革新を続けることにより、時代や環境の変化に対応するべく、問題解決型銀行を実践し、お客さまに質の高いサービスを提供してまいります。

2005年3月、金融庁は「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」を公表し、全国の地域金融機関は、2005、6年度の2年間に、地域密着型金融の一層の推進に取り組むことになりました。

さらに、2007年からは、「地域密着型金融」が恒久的な取り組みになり、各金融機関が独自性を出した活動を推進することになりました。

同時に、地域金融機関には、中小企業再生等に向けての取り組み、地域経済における経済的役割や存在意義、企業市民としての活動などを分かり

2011年12月号も、写真やイラストを増やし、分かりやすい紙面構成に心がけました。さらに、お客さまに役立つ情報を中心に、琉球銀行の活動をいろいろな角度から紹介しています。

引き続き、本紙を年二回の頻度で発行しますので、ご愛読のほどよろしくお願ひします。

【解説】地域密着型金融
「地域密着型金融」とは、「金融機関が顧客との間で親密な関係を長く維持することに、顧客に関する情報を蓄積し、この情報をもとに貸出等の金融サービスの提供を行うことと展開するビジネスモデル」と定義されます。

その本質は、金融機関が長期的な取引関係に基づき、質の高い対面交渉などを通じて、早い時点で取引先の経営改善に取り組むとともに、中小企業金融における貸出機能の強化により、自身の収益向上を図ることにあります。

また、金融機関と中小企業との共同管理やコストの共同負担という基本的方向性を踏まえながら、相互の信頼関係のもと、情報開示を一層推進し、借り手と貸し手の双方の健全性の確保を目指すことにあります。

りゅうぎんまかせて新聞
第17号(2011年12月号)発行

琉球銀行の地域貢献についての考え方(基本スタンス)

琉球銀行は、地方銀行の基本的な使命は「地域の金融インフラを支える存在として、円滑な資金供給と金融サービスを提供することにある」と認識し、本業である銀行業務を通じて地域貢献こそが、地方銀行本来のあり方と考えています。こうした基本理念に基づき、琉球銀行は県民からお預かりした預金の大部分を県内の中小企業・個人の皆さまに供給し、県経済・社会の発展に貢献しています。

同時に、地方銀行には、地域社会に根ざした良き企業市民としての社会的責任を果たすことが求められており、琉球銀行は、教育・芸術・文化・スポーツ振興支援や福祉・環境保護活動などのほか、さまざまなボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。

琉球銀行は、こうしたバランスの取れた地域貢献活動により、地域とともに持続的な発展を目指します。